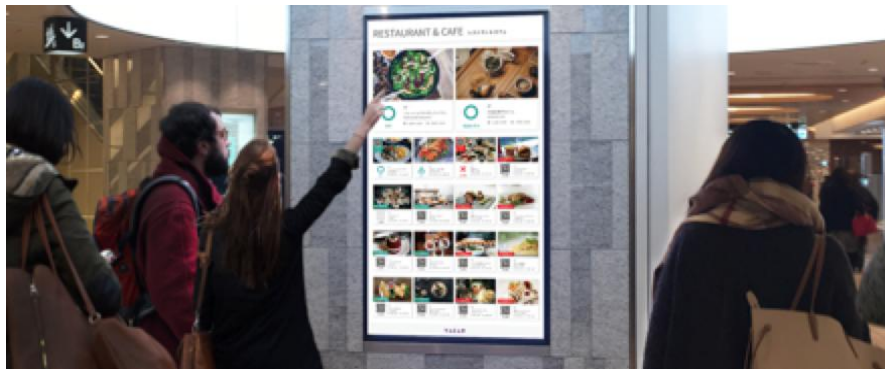


2017年（平成29年）8月3日

相鉄グループ

株式会社高島屋

IOTとAIで空間を智能化する新サービス！
レストランやカフェの空席状況をデジタルサイネージに一括表示
8月9日（水）から相鉄ジョイナスと高島屋横浜店で実証実験開始



（イメージ）

相鉄グループと、㈱高島屋（本社・大阪市中央区、代表取締役・木本茂）は、横浜駅西口を次世代にふさわしい最先端の都市とするために、「アクセラレーションプログラム」を共同で開催し、ベンチャー企業と共に横浜駅西口地区の活性化に取り組んでいます。

2016年（平成28年）秋、協業いただけるベンチャー企業42社にご応募いただき、書類審査・面談審査を経て本プログラムに参加する6社を採択。その後、2017年（平成29年）3月に優秀企業3社を決定し表彰しました。

この度、優秀企業の1社であり、IoT（モノのインターネット）とAI（人工知能）を活用して飲食店等の空席情報配信サービスを行う㈱バカン（本社・千代田区大手町、代表取締役・河野剛進）と共同で、横浜駅西口の相鉄ジョイナスと高島屋横浜店において、各施設内に点在する複数のレストランやカフェの空き状況が一目でわかるデジタルサイネージを設置し、店舗への送客状況や満足度を計測する実証実験を2017年（平成29年）8月9日（水）から10月2日（月）の期間で実施します。

実証実験を行うサービスのコア技術は㈱バカンが開発したもので、カメラを用いた画像解析やセンサー、管理者の手入力により、それぞれの店舗の空席や行列の状況をインターネット上で一括管理してデジタルサイネージへ表示します。今回の実証実験では、相鉄ジョイナス・高島屋横浜店のレストランやカフェ18店舗にカメラを設置し、4ヶ所に設置したデジタルサイネージに空席情報を表示すると共に、座席利用率の前後比較、アンケート調査等で効果測定を行います。

商業施設内に点在するレストランやカフェの混雑状況は、実際に店舗まで足を運んでいただかなくては把握できず、長時間お待ちいただくことが多々あります。このサービスでは、お客様に予め店舗の混雑情報をご案内することにより、お客様満足度の向上や集客効果の拡大を期待しており、検証後に本格的なサービスの実用化を検討していきます。

実証実験の概要は、別紙の通りです。

実証実験の概要

1. 実証実験対象店舗 (18店舗)

■相鉄ジョイナス (11店舗)



- ワイアード カフェ (4階)
- アンド ダブルレインボー (地下1階)
- ステーキジョイント (地下1階)
- オスロコーヒー (地下1階)
- とんかつ和幸 (地下2階)
- 横浜なかや 大関本店 (地下2階)
- ドロップコーヒー (2階)
- 牛たんとろろ麦めし ねぎし (地下1階)
- 洋麺屋五右衛門 (地下1階)
- 大戸屋 (地下1階)
- 銀座ライオン (地下2階)



■高島屋横浜店 (7店舗)

- カフェセブン (7階)
- イノダコーヒ (6階)
- 清月堂 (4階)
- タカノフルーツパーラー (2階)
- 資生堂パーラー (6階)
- カフェ・ド・チャヤ (5階)
- ウエスト ベイカフェ ヨコハマ (3階)

2. デジタルサイネージ設置場所 (4箇所)

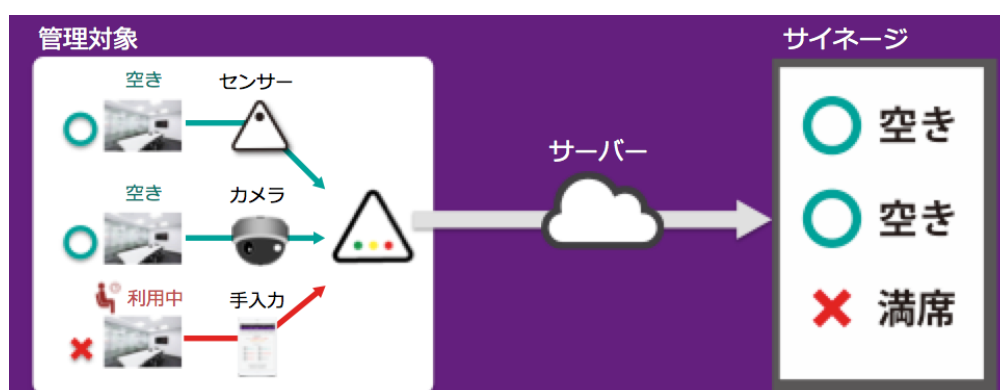
■相鉄ジョイナス (3箇所)

- 三角広場 (地下1階)
- 西口中央通り (地下1階) : 「オスロコーヒー」前、「オハラ」前

■高島屋横浜店 (1箇所)

- 正面口 (1階)

3. 空席状況の把握と表示の仕組み (イメージ)



※満席の場合は、店舗ロゴマークとおよその待ち時間を表示します。

4. (株)バカンについて

所在地 : 東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル12階

代表者 : 代表取締役社長 河野 剛進

設立 : 2016年(平成28年)6月

事業内容 : I o T (モノのインターネット) ・ A I (人工知能) を活用した
空席情報検索プラットフォーム開発・提供

※赤字は内容を追記しています。